様式第５号(第１５条関係)

審議会会議録

審議会等の名称	第３回　瑞穂市行政改革推進委員会
開催日時	令和８年１１月６日(金曜日) 午後６時００分から午後７時２０分まで
開催場所	瑞穂市役所　穂積庁舎３階　第１会議室
議題	第五次瑞穂市行政改革大綱（案）及び年度別実績（案）について
出席委員 欠席委員	出席委員　９名 髙梨　文彦委員、廣瀬　啓司委員、　伊藤　清美委員、 宇野　睦子委員、佐々木　尚孝委員、髙田　孝之委員、 豊田　隆夫委員、廣瀬　睦子委員、　馬淵　宏純委員、 欠席委員　１名 栗山　利宏委員
公開・非公開の区分(非公開理由)	公　開　・　非公開
傍聴人数	２人

１．開会

【事務局】

委員総数１０名に対し過半数を超える９名の出席があり、瑞穂市行政改革推進委員会設置条例第６条第２項の規定に基づき会議が成立していることを宣言した。

【会長】

挨拶を行い、傍聴希望者の確認を行った（傍聴希望者２名）

２．議題（１）第五次瑞穂市行政改革大綱（案）及び年度別実績（案）について

第五次行政改革大綱案の重点項目２について

【会長】

前回と同様に重点項目ごとに大綱案そのものと実績報告の案を併せて議論することとし、前回からの続きの第五次行政改革大綱案の重点項目２について委員に質問・意見を求めた。

【事務局】
説明資料を用いて第五次行政改革大綱案の重点項目２について説明を行った。

【会長】
第五次行政改革大綱案の重点項目２について委員に質問・意見を求めた。

【Ａ委員】
適正な職員数とは、何をもって適正なのか。離職が増えているが対応はどうしているのか。ＩＴ化して職員を減らしていく考えはあるか。長期、短期、宿泊研修を実際に行っているかどうか。

【事務局】
適正な職員数は類似団体を参考にしている。年度途中で急遽離職があった場合は、会計年度任用職員などを臨時的に雇用することや、部内、課内でそれぞれ協力し合って補充していくことも考えられる。ＩＴ化により職員の業務改善につながって、職員を減らすことができるのであれば、まずは会計年度任用職員から順番に減らしていくことになると思う。研修については、千葉と滋賀に宿泊研修があり、毎年４，５人参加させる予定をしている。

【Ｂ委員】
人事評価はしているのか。業務が偏って過重労働となっている職員はいないか。

【事務局】
人事評価は全職員実施している。過重労働については、時間外勤務が多い職員がいる場合は、所属長に業務量は適正かを確認をするようにしている。

【Ｃ委員】
研修による意識改革はどのように評価するのか。部内、課内への研修のフィードバックは実施しているか。職員が資格を取得した場合に給与など処遇に反映されるのか。

【事務局】
積極的に研修に参加する職員には人事評価で高く評価できることとしている。研修のフィードバックは実施できていない部署が多いが、財務情報課では朝礼で研修のフィードバックを実施している。資格取得によって手当がもらえることはないが、人事評価で高く評価したいと考えている。

【Ｃ委員】
レポートを作成してまでフィードバックをすると負担になってしまうので、口頭でもかまわないので伝える場があると研修が活かされていくと思う。

【事務局】
研修の情報共有や意見交換ができればいいと思って課の朝礼で実施しており、他の課にも浸透するとよいと考えている。ＩＴパスポートの資格取得に係る受験料は予算化して助成す

ることを考えている。

【Ｂ委員】
　職員用に、資格や研修などをリスト化するなどの取り組みは存在するか。

【事務局】
　現在、来年度に向けてリスト化を検討している。資格取得に係る費用の助成を予算化しているため、リスト化することによって費用の助成の活用につなげたいと考えている。

【会長】
　人材育成の取り組みの「国事業」とは何を意味しているのか。

【事務局】
　国の補助金の事業という意味である。

【会長】
　イメージしにくいため、わかりやすい表現にするとよい。
（１）の①「効率的な組織体制の確立」という表題に対して、年度別実績の内容と整合していないのでは。

【事務局】
　他の言葉に置き換えるなど、表現は検討する。

【Ｄ委員】
　ここでは今後数年間の人口は微増とあって、重点項目３では将来の人口減少に伴う職員の処遇…とある。将来は人口減少すると思うが、市のピークは 2 年前の 10 月で、そこから増えていないのに、しばらくは微増という表現は疑問。

【事務局】
　実際の増減の事ではなく、今後の見込みのことを書いている。表現の仕方だとは思うが、皆さんはどう思うか。

【Ｂ委員】
　他市町は減っているが、瑞穂市は微増している。

【Ａ委員】
　今は微増しているが、将来的には減少していくという認識でいる。

【Ｅ委員】
　そこまでこだわらなくてもよいと思う。その文言も削っても文章としてはおかしくないと思う。人口が多少増えれば仕事も多少増えるという程度のニュアンスなら問題ないと思う。

【会長】
　表現の問題と考えられるため、削るか残すかは事務局の判断に任せたいと思う。

第五次行政改革大綱案の重点項目３について

【会長】
　第五次行政改革大綱案の重点項目３について委員に質問・意見を求めた。

【事務局】
　説明資料を用いて第五次行政改革大綱案の重点項目３について説明を行った。

【会長】
　第五次行政改革大綱案の重点項目３について委員に質問・意見を求めた。

【Ａ委員】
　事業仕分けはスピード感をもってやってほしい。情報漏洩について問題となっているため、対策する課を設けることを考えてほしい。コンビニ交付サービス等は、高齢者に丁寧に説明してほしい。

【事務局】
　事業仕分けは、一度にたくさん実施すると委員の皆さんの負担にもなるので３事業ずつ実施している。最近は自ら廃止していく風潮も少しずつ出てきた。

【Ａ委員】
　ほかの部局から指摘できる事業はたくさんあるのではないか。

【事務局】
　職員からの募集もしている。少しずつ提案は出ている。
　情報漏洩については、市のセキュリティポリシーに準じて、情報セキュリティの体制を整えている。高齢者対応は、今後マイナンバーカードを活用したサービスなどが増えていくと思うので、ついてきてもらえるよう対応を考えたい。

【Ｂ委員】
　危機管理能力の高い職員を育てるということが重要だと思う。

【事務局】
　職員の危機管理意識を高めるように研修などを推進していきたいと考えている。

【会長】
　書かない窓口という言葉になじみがないと思うので、「」でくくってはどうか。また、実績の「ＬｏＧｏフォーム手続き件数」もわかりづらいため、「ＬｏＧｏフォームを用いた手続き件数」とするとよいのでは。事務局で検討してほしい。

事業仕分けの実績について、結果は委員会の議論の結果ではなく、最終的な市の対応を記載するということか。

【事務局】
最終的な市の対応を記載することとしたい。

【会長】
３つの事業に対して、どの対応にしたかを件数だけで記載するのはさみしく見える。

【事務局】
事業名を入れてもよいと思う。

【Ｂ委員】
新規事業についての記載が先にあるが、既存事業をスクラップして新規事業を実施するのが一般的な概念だと思う。表現に違和感がある。

【事務局】
一度始めてしまうとなかなかやめられないというのが課題なので、この事業仕分けにより事業を減らす、縮小することとしたい。

【会長】
既存事業の見直しだということがもっと直接伝わりやすいような表現にするとよい。

【事務局】
新規事業についての記載はなくてもよいかもしれない。

【会長】
表現の見直しを事務局に検討してもらいたい。

第五次行政改革大綱案の重点項目４について

【会長】
第五次行政改革大綱案の重点項目４について委員に質問・意見を求めた。

【事務局】
説明資料を用いて第五次行政改革大綱案の重点項目４について説明を行った。

【会長】
第五次行政改革大綱案の重点項目４について委員に質問・意見を求めた。

【Ｃ委員】
市民には「行政コスト」が分かりづらい。わかりやすい形で示してほしい。

【事務局】
その施設には、どれだけの収益があって、どれだけの費用がかかっているかを分析し、他市町と比較したい。もう少しわかりやすい表現にしたい。

【会長】
これまで出た意見を反映して案を作成できるか、事務局に検討してもらいたい。

３．その他

【会長】
今後のスケジュールを確認。
・11 月中旬に大綱と年度別実績の案を各委員に送付。
・次回の会議（事業仕分け）は、令和 8 年 12 月 4 日（金）18 時 00 分より開催。
・案の内容に問題なければ、12 月中旬から 1 か月パブリックコメントを実施

４．閉会

事務局 （担当課）	瑞穂市　総務部　財務情報課 TEL：058-327-4131 FAX：058-327-4103 e-mail：zaimu@city.mizuho.lg.jp